

### 3. 教育部報告

一、黨及び各支部教育部の活動が、逐年活氣を呈し、良好なる成績を挙げつゝあることは之れを認めざるを得ない。今年も市町村會議員選舉戦のために多大の故障を受けたにも拘らず、前年に比肩すべからざる左の如き多數の講座を開いた。

二、三月十八日中央委員會に於いて、我黨の教育一般方針が決定され、又教育部内規が新たに規定された。(別項中央委員會報告参照)

三、民衆政治學校及び講座

▽長野縣北佐久支部

期間 自一月十八日—至同卅日

場所 北佐久郡本牧村

講師及課目 松下芳男

聽講者數 約四十名

▽兵庫第二支部

期間 三月下旬五日間

場所 尼ヶ崎市

講師及課目 (詳細不明)

聽講者數 (同上)

▽豊島民衆政治學校

期間 自四月一日—至十一月每週二日間

場所 東京府下尾久町尾久分會事務所

主催 豊島支部

講師及課目 (詳細不明)

聽講者數 (同上)

▽東京府第五區支部

期間 自六月廿日より每週一回

場所 府下代々幡町

講師及課目 (詳細不明)

聽講者數 (同上)

▽京都支部

期間 自七月五日—至十一日

場所 京都市

課目 社會思想史、政治學、經濟學、プロレタリア文學論、都市政策

講師 土田杏村、中島玉吉、吉川末次郎、高橋貞三

#### ▽豊島民衆政治學校

自八月十一日—至十七日

場所 東京、豊島區開聖天禮堂

講師 社會民衆黨本部教育部

課目 【正科】重要産業論(原形)、失業対策論(小山壽夫)、我黨指導理論(赤松克麿)、教育政策(爲藤五郎)、小作立法(片山哲)、勞働立法論(鈴木文治)、國家財政論(松永義雄)、保險政策(馬嶋側)、地方財政論(松永義雄)、自治制論(爲藤五郎)、軍備問題(松下芳男)、選舉運動(爲藤五郎)、無産政黨及其の現状(片山哲)、伴給者市民運動(小池四郎)、勞働組合及勞働運動(齋藤健二)、農民組合及農民運動(赤松克麿)、農村經濟論(笠置運)、婦人運動(山田やす子)、政界の現状(馬嶋恒吾)、軍縮問題(水野廣徳)、近世日本政治史(吉野作造)、近世日本經濟史(白柳秀樹)

都市問題(島中雄三)、英國勞働黨の

#### ▽社會民衆黨夏季大學(大阪)

自八月一日—至七日

場所 大阪支部聯合會

講師 社會學并に社會政策(大山彦一)、選舉制度論(森戸繁治)、消費稅論(神戸正雄)、立法に於ける社會的傾向(中嶋玉吉)、人口論(高野岩三郎)、唯物史觀(森戸辰男)、英國勞働黨と社會主義(河田嗣郎)、大阪市に於ける社會施設(山口正)、我國無産政黨に就いて(西尾末廣)、都市計畫論(島重治)

聽講者 五十名

▽社會民衆黨夏季大學(大阪)

期間 自八月一日—至七日

主催 大阪支部聯合會

場所 大阪市南區大賣小學校

講師及課目 社會學并に社會政策(大山彦一)、選舉制度論(森戸繁治)、消費稅論(神戸正雄)、立法に於ける社會的傾向(中嶋玉吉)、人口論(高野岩三郎)、唯物史觀(森戸辰男)、英國勞働黨と社會主義(河田嗣郎)、大阪市に於ける社會施設(山口正)、我國無産政黨に就いて(西尾末廣)、都市計畫論(島重治)

聽講者 約三百名

▽仙臺府養老道學校

講師 約三百名

場所 仙臺府養老道學校

講師 約三百名

場所 仙臺府養老道學校

講師 約三百名

場所 仙臺府養老道學校

講師 約三百名

場所 仙臺府養老道學校